

Ⅰ 就業の状況

1 就業者の推移

令和4年の就業看護職員総数は、34,868人で、その内訳は、保健師1,103人、助産師508人、看護師24,586人、准看護師8,671人となっています。前回(令和2年)から就業看護職員総数は、202人(0.6%)減少し、10年前(平成24年)と比較すると、約3,200人(10.1%)増加しています。また、就業保健師数、助産師数及び看護師数は、調査年毎に増加していますが、就業准看護師数は近年、平成14年をピークに減少傾向にあり、9,000人を下回っています(表1、図1)。

一方、令和4年の人口10万対就業看護職員数は、2,029.6人で全国平均1,332.1人と比較すると697.5人上回り、全国5位となっています(表1)。また、職種別内訳をみると、人口10万対就業保健師数64.2人(全国17位)、人口10万対就業看護師数1,431.1人(全国6位)、人口10万対就業准看護師数504.7人(全国1位)といずれも全国平均を上回りましたが、人口10万対就業助産師数は、29.6人(全国36位)で、全国平均を下回っています(表1)。

平成20年から公表している常勤換算による就業看護職員数は、令和4年は、32,324.5人で、前回調査から389.5人増加しています(表1)。

表1 就業看護職員数の推移

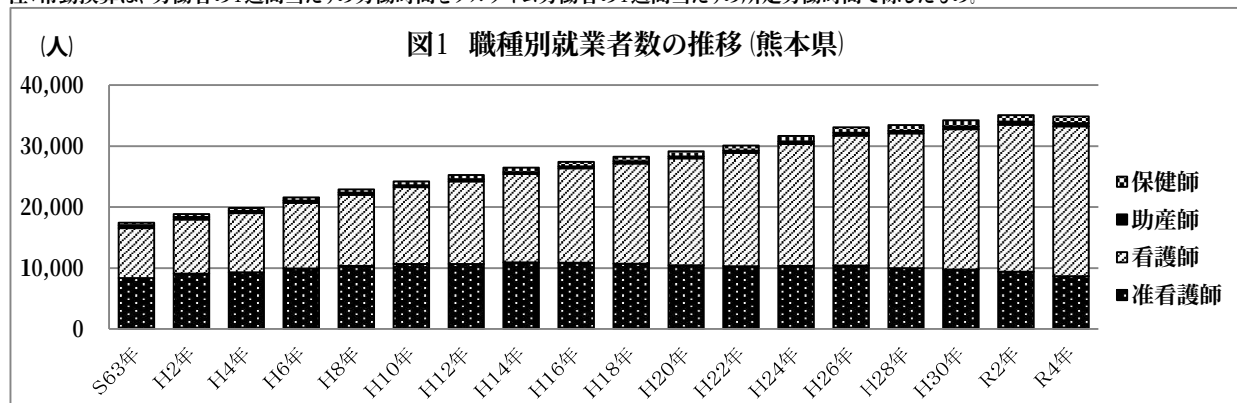
<単位:人>

調査年	職種		助産師	看護師		准看護師	合計		2年前からの増加数	常勤換算(注)
	保健師	男性再掲		看護師	男性再掲		看護師	男性再掲		
昭和63年	417		435	8,215	197	8,360	321	17,427	518	
平成2年	456		413	8,903	224	9,084	407	18,856	631	1,429
平成4年	475		364	9,681	296	9,327	470	19,847	766	991
平成6年	521		363	10,749	356	9,934	571	21,567	927	1,720
平成8年	553	1	353	11,644	419	10,371	605	22,921	1,025	1,354
平成10年	634		334	12,589	498	10,675	681	24,232	1,179	1,311
平成12年	698	1	319	13,543	606	10,698	706	25,258	1,313	1,026
平成14年	707		306	14,504	718	10,947	777	26,464	1,495	1,206
平成16年	728		307	15,529	835	10,865	852	27,429	1,687	965
平成18年	744	1	331	16,473	951	10,708	847	28,256	1,799	827
平成20年	808	5	337	17,518	1,076	10,470	837	29,133	1,918	877
平成22年	831	9	379	18,609	1,221	10,295	876	30,114	2,106	981
平成24年	898	10	416	19,993	1,420	10,352	892	31,659	2,322	1,545
平成26年	910	8	441	21,333	1,559	10,413	920	33,097	2,487	1,438
平成28年	929	16	454	22,075	1,680	9,996	880	33,454	2,576	357
平成30年	992	23	468	23,012	1,858	9,776	897	34,248	2,778	794
令和2年	1,038	25	502	24,097	2,049	9,433	878	35,070	2,952	822
令和4年	1,103	26	508	24,586	2,222	8,671	813	34,868	3,061	-202
割合		3.2%	1.5%	70.5%		24.9%		100.0%		
人口10万対		64.2	29.6	1,431.1		504.7		2,029.6		
(全国順位)		(17位)	(36位)	(6位)		(1位)		(5位)		
(全国)令和4年		60,299	38,063	1,311,687		254,329		1,664,378		
割合		3.6%	2.3%	78.8%		15.3%		100.0%		
人口10万対		48.3	30.5	1,049.8		203.5		1,332.1		

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)、

総務省統計局「人口推計」(調査日:令和4年10月1日)

注:常勤換算は、労働者の1週間当たりの労働時間をフルタイム労働者の1週間当たりの所定労働時間で除したもの。



2 場所別就業状況

令和4年の就業場所別の就業看護職員の実人員数は、前回調査（令和2年）と同様、病院が20,503人（58.8%）と最も多く、次いで診療所6,103人（17.5%）、介護保険施設等4,185人（12.0%）となっています（表2）。

また、就業看護職員数の平成24年から令和4年までの10年間の増加率は、訪問看護ステーションが136.1%と最も高く、次いで助産所57.1%、介護保険施設等41.7%となっています（表3）。

表2 令和4年の職種別就業場所別就業数

<単位：人>

就業場所 職種		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
実人員	保健師	135	81	32	761	2	2	57	0	13	20	1,103
	助産師	297	140	0	10	0	0	0	44	16	1	508
	看護師	17,177	2,977	1,964	325	1,184	436	48	0	303	172	24,586
	准看護師	2,894	2,905	2,189	62	162	282	16	0	2	159	8,671
	総数	20,503	6,103	4,185	1,158	1,348	720	121	44	334	352	34,868
	割合（%）	58.8%	17.5%	12.0%	3.3%	3.9%	2.1%	0.3%	0.1%	1.0%	1.0%	100.0%
常勤換算	保健師	122.9	75.2	31.4	725.7	2.0	1.7	54.6	0.0	10.6	17.8	1,041.9
	助産師	291.8	126.2	0.0	6.6	0.0	0.0	0.0	33.0	15.7	0.8	474.1
	看護師	16,463.7	2,597.1	1,729.7	249.3	1,033.5	378.5	39.2	0.0	283.9	147.1	22,922.0
	准看護師	2,726.2	2,613.6	1,967.4	47.6	133.3	249.3	11.2	0.0	1.2	136.7	7,886.5
	総数	19,604.6	5,412.1	3,728.5	1,029.2	1,168.8	629.5	105.0	33.0	311.4	302.4	32,324.5
	割合（%）	60.6%	16.7%	11.5%	3.2%	3.6%	1.9%	0.3%	0.1%	1.0%	0.9%	100.0%
全国	実人員総数	1,003,815	273,890	165,785	58,670	76,823	33,493	11,418	2,726	19,552	18,206	1,664,378
	割合（%）	60.3%	16.5%	10.0%	3.5%	4.6%	2.0%	0.7%	0.2%	1.2%	1.1%	100.0%

※出典：厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届（調査日：令和4年12月31日）

表3 就業場所別就業数の推移

<単位：人>

就業場所 調査年		病院	診療所	介護保険施設等	県又は市町村	ステーション 訪問看護	社会福祉施設	事業所	助産所	学校養成所 看護師等	その他	計
平成22年		18,653	6,454	2,405	988	532	528	89	26	284	155	30,114
	男性再掲	1,652	155	206	7	6	63	2	0	6	9	2,106
平成24年		19,381	6,394	2,954	1,036	571	649	213	28	311	122	31,659
	男性再掲	1,817	141	249	9	13	71	6	0	11	5	2,322
平成26年		20,015	6,361	3,450	1,073	800	774	106	33	326	159	33,097
	男性再掲	1,925	134	290	13	19	84	7	0	11	4	2,487
平成28年		20,120	6,317	3,698	1,081	901	768	66	32	326	145	33,454
	男性再掲	1,993	136	286	14	43	87	1	0	13	7	2,580
平成30年		20,489	6,394	3,978	1,113	1,036	586	76	32	327	217	34,248
	男性再掲	2,153	143	337	20	62	33	3	0	13	14	2,778
令和2年		20,903	6,228	4,295	1,118	1,107	622	85	41	317	354	35,070
	男性再掲	2,290	139	360	22	78	31	0	0	15	17	2,952
令和4年		20,503	6,103	4,185	1,158	1,348	720	121	44	334	352	34,868
	男性再掲	2,316	135	375	23	128	38	5	0	20	21	3,061
増加率（注）		5.8%	-4.6%	41.7%	11.8%	136.1%	10.9%	-43.2%	57.1%	7.4%	188.5%	10.1%

※出典：厚生労働省看護職員業務従事者届（調査日：調査年の12月31日）

注：増加率は、平成24年から令和4年までの増加率。

3 職種別場所別年次別就業状況

(1) 保健師

令和4年の就業保健師総数は、1,103人で、平成20年の特定健診、特定保健指導制度の導入、地域包括ケアシステム構築等に向けた取組などから、調査年毎に増加しています(表4)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所及び事業所の割合が低くなっています(図2)。

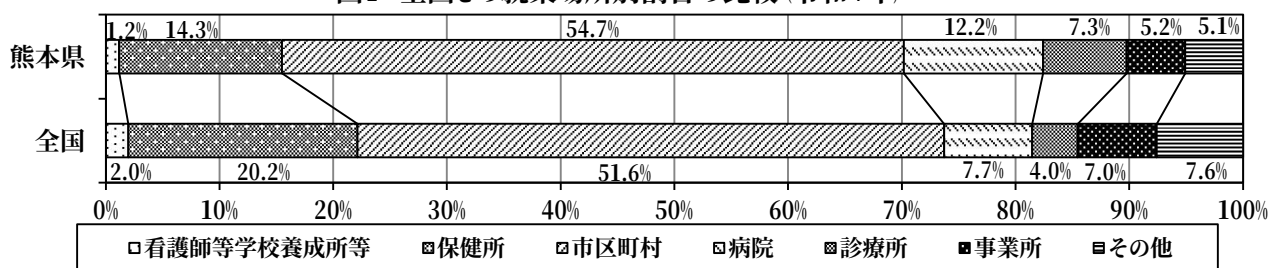
表4 就業場所別就業保健師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師等学校養成所等	保健所	市区町村	病院	診療所	事業所	介護保険施設等	訪問看護ステーション	社会福祉施設	その他	計
平成22年	14	69	533	69	58	30	5	3	3	47	831
平成24年	22	67	555	80	61	81	7	2	5	18	898
平成26年	12	66	583	84	62	47	10	2	5	39	910
平成28年	12	66	553	108	76	29	43	2	3	37	929
平成30年	12	72	593	111	79	37	32	2	3	51	992
令和2年	14	104	571	119	78	45	44	6	5	52	1,038
令和4年	13	158	603	135	81	57	32	2	2	20	1,103
常勤換算	10.6	149.3	576.4	122.9	75.2	54.6	31.4	2.0	1.7	17.8	1,041.9
(全国)令和4年	1,196	12,154	31,104	4,666	2,396	4,201	1,776	331	455	2,013	60,292

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図2 全国との就業場所別割合の比較(令和4年)



(2) 助産師

令和4年の就業助産師総数は、508人で、調査年毎に増加しており、就業場所別では、診療所・助産所の就業数が平成22年以降調査年毎に増加しています(表5)。また、就業場所別割合を全国と比較すると、熊本県では、保健所、市町村及び病院の割合が低くなっています(図3)。

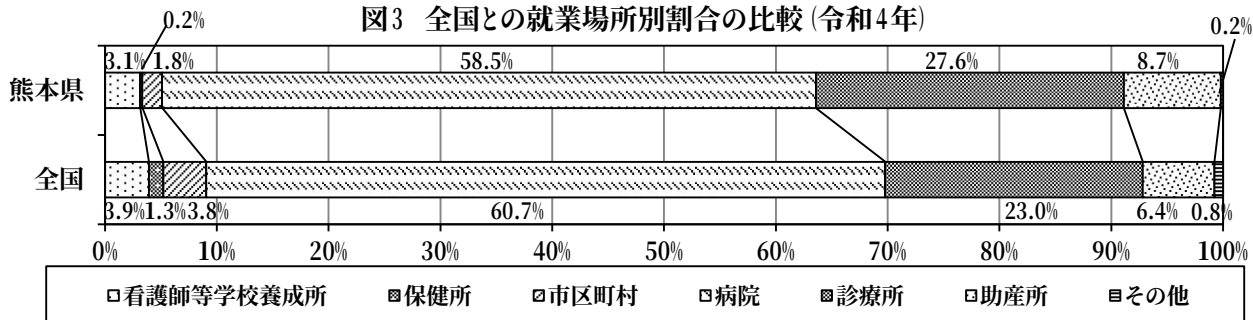
表5 就業場所別就業助産師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師等学校養成所	保健所	市区町村	病院	診療所	助産所	その他	計
平成22年	17	7	224	105	26			379
平成24年	23	9	249	106	28	1		416
平成26年	28	10	257	111	33	2		441
平成28年	25	7	261	129	31	1		454
平成30年	22	12	277	124	32	1		468
令和2年	18	8	297	138	41	0		502
令和4年	16	1	9	297	140	44	1	508
常勤換算	15.7	0.2	6.4	291.8	126.2	33.0	0.8	474.1
(全国)令和4年	1,494	495	1,458	23,109	8,770	2,445	292	38,063

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図3 全国との就業場所別割合の比較(令和4年)



(3) 看護師

令和4年の就業看護師総数は、24,586人で、前回調査と比較すると、市町村・介護保険施設等を除く就業場所で、就業数が増加しています(表6)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図4)。

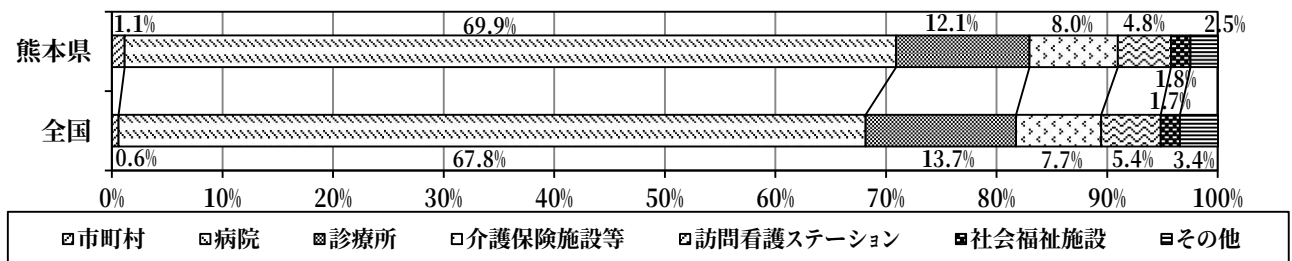
表6 就業場所別就業看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所	市町村	病院	診療所	事業所	介護保 険施設等	訪問看 護ステ ーション	社会福 祉施設	その他	計
平成22年	253	23	267	13,947	2,249		980	466	306	118	18,609
平成24年	266	16	301	14,837	2,336		1,226	492	376	143	19,993
平成26年	285	12	311	15,599	2,421		1,459	698	432	116	21,333
平成28年	289	16	321	15,933	2,528		1,631	774	472	111	22,075
平成30年	292	17	310	16,497	2,712		1,790	904	344	146	23,012
令和2年	283	36	282	17,156	2,812		1,975	958	370	225	24,097
令和4年	303	43	282	17,177	2,977	48	1,964	1,184	436	172	24,586
常勤換算	283.9	32.0	217.3	16,463.7	2,597.1	39.2	1,729.7	1,033.5	378.5	147.1	22,922.0
(全国)令和4年	16,784	4,415	7,962	888,858	179,241	5,904	101,161	70,975	22,825	13,562	1,311,687

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図4 全国との就業場所別割合の比較(令和4年)



(4) 准看護師

令和4年の就業准看護師総数は、8,671人で、病院及び診療所では、調査年毎に減少していますが、一方で、訪問看護ステーションの就業数は、調査年毎に増加しています(表7)。また、就業場所別割合は、全国と同様の傾向となっています(図5)。

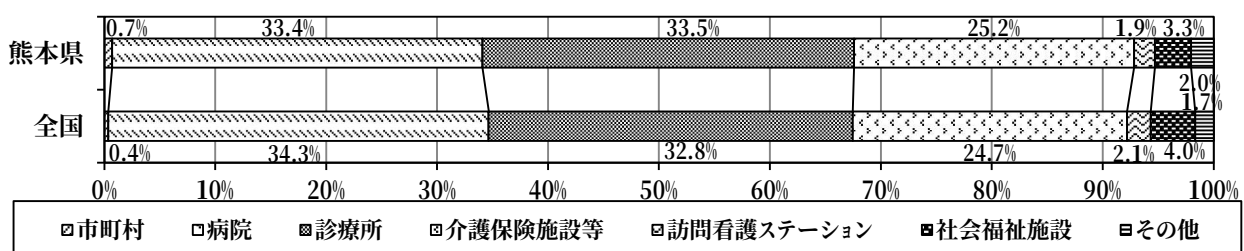
表7 就業場所別就業准看護師数の推移

<単位:人>

就業場所 調査年	看護師 等学校 養成所	保健所	市町村	病院	診療所	事業所	介護保 険施設等	訪問看 護ステ ーション	社会福 祉施設	その他	計
平成22年		1	88	4,413	4,042		1,420	63	219	49	10,295
平成24年		1	87	4,215	3,891		1,721	77	268	92	10,352
平成26年		—	91	4,075	3,767		1,981	99	337	63	10,413
平成28年		—	88	3,818	3,584		2,024	125	293	64	9,996
平成30年		—	66	3,604	3,479		2,156	130	239	102	9,776
令和2年		—	67	3,331	3,200		2,276	143	247	169	9,433
令和4年	2		62	2,894	2,905	16	2,189	162	282	159	8,671
常勤換算	1.2		47.6	2726.2	2613.6	11.2	1967.4	133.3	249.3	136.7	7886.5
(全国)令和4年	78	140	942	87,182	83,483	1,286	62,848	5,462	10,171	2,737	254,329

※出典:厚生労働省衛生行政報告例、看護職員業務従事者届(調査日:調査年の12月31日)

図5 全国との就業場所別割合の比較(令和4年)



4 年齢別職種別就業状況

令和4年の就業者総数の年齢区分別割合では、40歳代が26.2%で最も多く、次いで50歳代が23.8%を占めています。また、10年前の平成24年と比較すると、令和4年では、60歳以上（9.9ポイント増加）で就業割合が増加しています（表8、図6）。

さらに、職種別の年齢構成の特徴は、就業看護師数が25～29歳・45～49歳をピークとするM字カーブ、就業保健師数が35～39歳、就業助産師数が25～29歳、就業准看護師数が55～59歳をピークとする山型の傾向になっています（図7、図8）。

表8 年齢区分別職種別就業数

<単位：人>

職種 年齢区分	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
		割合		割合		割合		割合		割合
25歳未満	32	2.9%	38	7.5%	1,645	6.7%	165	1.9%	1,880	5.4%
25～29	95	8.6%	106	20.9%	2,543	10.3%	284	3.3%	3,028	8.7%
30～34	148	13.4%	55	10.8%	2,497	10.2%	450	5.2%	3,150	9.0%
35～39	219	19.9%	53	10.4%	2,970	12.1%	714	8.2%	3,956	11.3%
40～44	161	14.6%	66	13.0%	3,274	13.3%	1,018	11.7%	4,519	13.0%
45～49	132	12.0%	51	10.0%	3,319	13.5%	1,103	12.7%	4,605	13.2%
50～54	98	8.9%	52	10.2%	3,023	12.3%	1,146	13.2%	4,319	12.4%
55～59	91	8.3%	36	7.1%	2,448	10.0%	1,393	16.1%	3,968	11.4%
60～64	82	7.4%	30	5.9%	1,809	7.4%	1,374	15.8%	3,295	9.4%
65～69	35	3.2%	8	1.6%	800	3.3%	700	8.1%	1,543	4.4%
70～74	10	0.9%	11	2.2%	219	0.9%	275	3.2%	515	1.5%
75歳以上	0	0.0%	2	0.4%	39	0.2%	49	0.6%	90	0.3%
計	1,103	100.0%	508	100.0%	24,586	100.0%	8,671	100.0%	34,868	100.0%

※出典：厚生労働省看護職員業務従事者届（調査日：令和4年12月31日）

図6 平成24年と令和4年の就業看護職員の年齢構成の比較

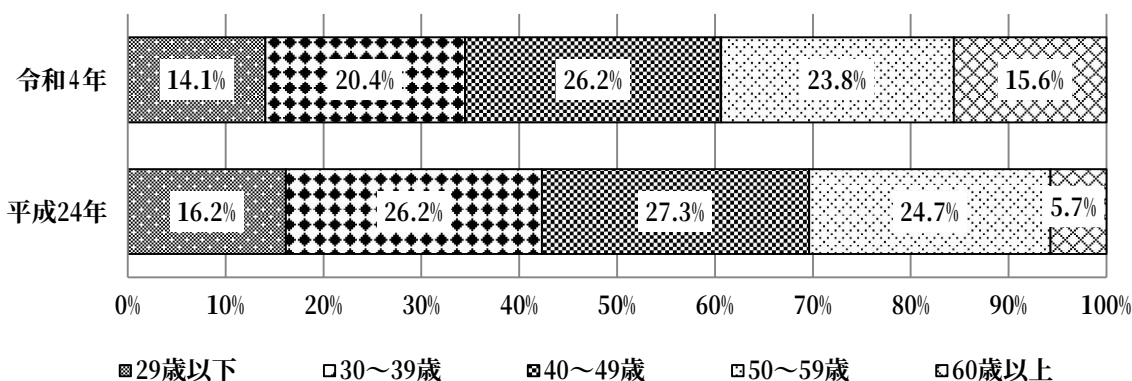


図7 就業保健師・就業助産師の年齢構成（令和4年）

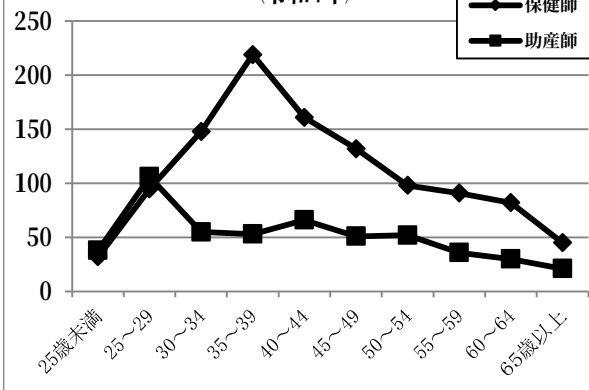
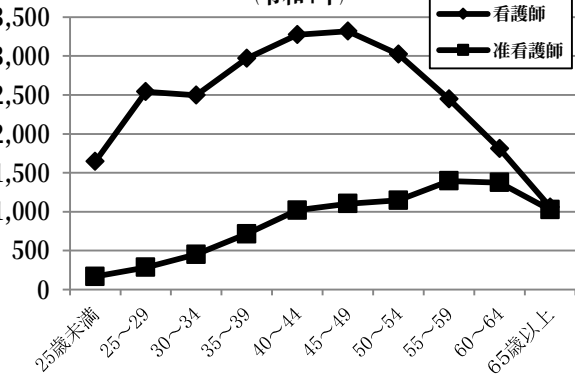


図8 就業看護師・就業准看護師の年齢構成（令和4年）



5 保健所管轄別職種別就業状況

令和4年の保健所管轄別就業看護職員総数が最も多いのは、熊本市の16,835人(48.3%)で、次いで、菊池2,857人(8.2%)、八代2,778人(8.0%)の順となっています。一方、保健所管轄別就業看護職員総数が最も少ないのは、阿蘇の866人(2.5%)、次いで山鹿914人(2.6%)となっています(表9)。

表9 令和4年の保健所管轄別就業場所別職種別就業数

<単位:人>

保健所		有明	山鹿	菊池	阿蘇	御船	宇城	八代	水俣	人吉	天草	熊本市	計
保健師	就業場所												
	病院	7	5	10	0	0	2	10	1	4	7	89	135
	診療所	0	0	5	0	0	1	1	0	1	3	70	81
	訪問看護ステーション	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	介護保険施設等	0	0	0	0	5	0	3	2	2	2	18	32
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	県又は市町村	91	36	71	44	57	45	53	26	65	61	212	761
	事業所	3	3	15	1	1	4	0	0	0	0	30	57
	看護師等学校・養成所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	13
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	17	20
	計	104	44	103	45	63	53	67	30	73	75	446	1,103
助産師	病院	8	0	0	1	0	0	14	9	4	12	249	297
	診療所	9	0	26	0	1	22	9	2	4	6	61	140
	助産所	1	1	5	0	2	1	5	0	0	0	29	44
	県又は市町村	3	0	2	0	1	0	2	0	0	0	2	10
	看護師等学校・養成所	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	12	16
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	計	23	1	33	1	4	23	31	11	8	19	354	508
看護師	病院	1,119	361	1,516	300	404	674	1,223	595	615	998	9,372	17,177
	診療所	276	45	257	46	92	157	177	83	55	168	1,621	2,977
	助産所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問看護ステーション	92	14	96	17	77	61	105	24	35	55	608	1,184
	介護保険施設等	165	58	157	105	102	102	160	89	90	131	805	1,964
	社会福祉施設	26	15	61	8	30	22	39	21	21	43	150	436
	県又は市町村	50	12	24	4	17	10	19	6	15	20	148	325
	事業所	2	0	8	2	0	2	0	4	1	0	29	48
	看護師等学校・養成所	52	22	3	0	0	4	21	2	4	36	159	303
	その他	5	0	13	3	1	13	7	8	6	7	109	172
	計	1,787	527	2,135	485	723	1,045	1,751	832	842	1,458	13,001	24,586
准看護師	病院	178	115	196	118	171	162	244	121	235	269	1,085	2,894
	診療所	272	135	219	67	125	224	313	93	191	202	1,064	2,905
	訪問看護ステーション	8	0	2	2	16	5	33	3	17	5	71	162
	介護保険施設等	166	75	131	127	157	144	296	77	204	180	632	2,189
	社会福祉施設	25	13	25	15	22	7	23	16	29	24	83	282
	県又は市町村	15	1	1	1	7	2	1	1	8	12	13	62
	事業所	1	0	7	1	0	4	2	0	0	0	1	16
	看護師等学校・養成所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	その他	8	3	5	4	8	2	17	8	18	2	84	159
	計	673	342	586	335	506	550	929	320	702	694	3,034	8,671
合計		2,587	914	2,857	866	1,296	1,671	2,778	1,193	1,625	2,246	16,835	34,868
割合		7.4%	2.6%	8.2%	2.5%	3.7%	4.8%	8.0%	3.4%	4.7%	6.4%	48.3%	100%
令和2年合計		2,595	903	2,875	882	1,318	1,665	2,746	1,219	1,658	2,293	16,916	35,070
令和2年との比較(注)		▲ 8	11	▲ 18	▲ 16	▲ 22	6	32	▲ 26	▲ 33	▲ 47	▲ 81	▲ 202

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:令和4年12月31日)

注:令和2年との比較は、令和4年合計を令和2年合計で減じたもの。

6 病院病床100床当たりの保健所管轄別就業看護職員数

令和4年の病院病床100床当たり就業看護職員数は、熊本県は平均63.5人で、全国の67.2人を3.7人下回っています。保健所管轄別では、熊本市の73.0人が最も高く、阿蘇の43.5人が最も低くなっています(表10)。

また、病院病床100床当たりの就業看護職員数が前回調査より減少しているのは、山鹿、阿蘇、御船、水俣、人吉、熊本市となっています(図9)。

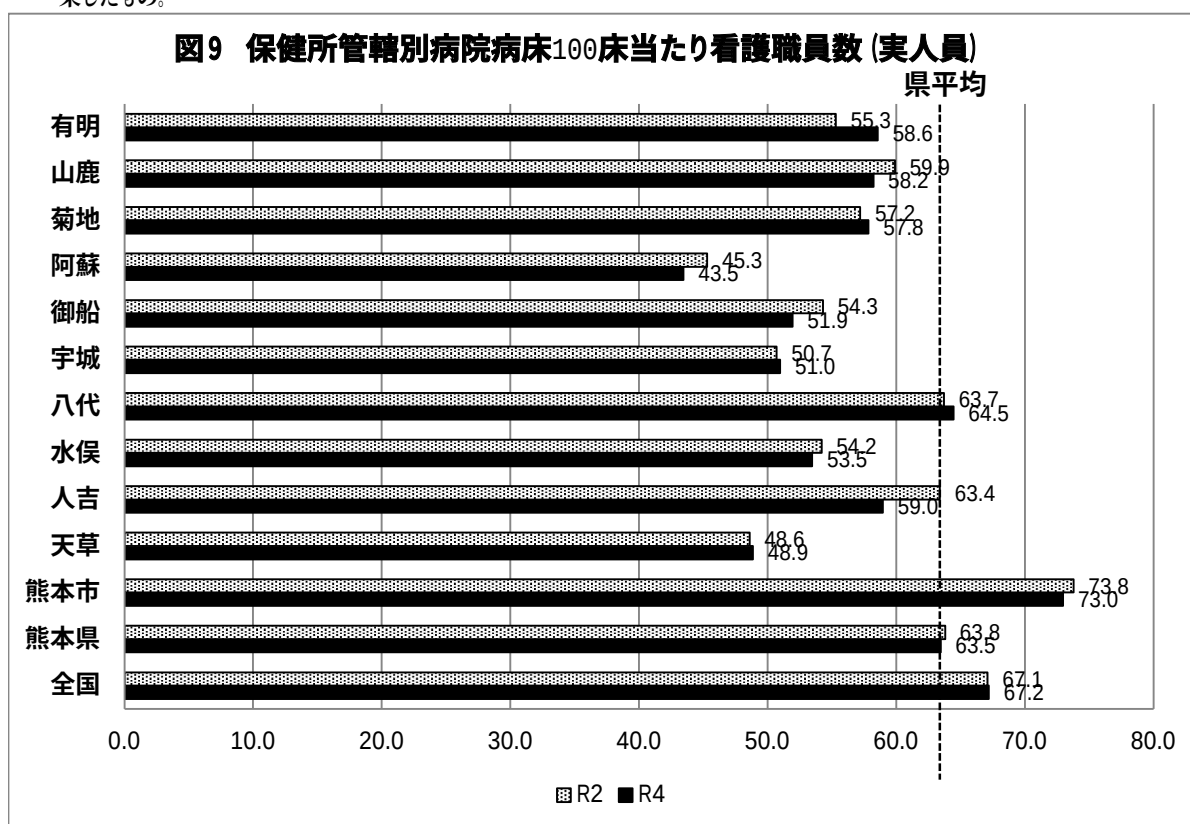
表10 病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数(注1)

<単位:人>

圏域	職種	保健師	助産師	看護師	准看護師	合計	病院病床数(総数) (令和4.4.1)
有明		0.3	0.4	50.0	7.9	58.6	2,240
山鹿		0.6	0.0	43.7	13.9	58.2	826
菊池		0.3	0.0	50.9	6.6	57.8	2,977
阿蘇		0.0	0.1	31.1	12.2	43.5	964
御船		0.0	0.0	36.5	15.4	51.9	1,107
宇城		0.1	0.0	41.0	9.9	51.0	1,644
八代		0.4	0.6	52.9	10.5	64.5	2,313
水俣		0.1	0.7	43.8	8.9	53.5	1,358
人吉		0.3	0.3	42.3	16.2	59.0	1,455
天草		0.3	0.5	37.9	10.2	48.9	2,632
熊本市		0.6	1.7	63.4	7.3	73.0	14,792
熊本県		0.4	0.9	53.2	9.0	63.5	32,308
	常勤換算	0.4	0.9	51.0	8.4	60.7	
全国		0.3	1.5	59.5	5.8	67.2	1,492,957
	常勤換算	0.3	1.5	57.0	5.4	64.1	

※出典:厚生労働省看護職員業務従事者届(調査日:令和4年12月31日)、令和4年医療施設調査(調査日:令和4年10月1日)

注1:病院病床100床当たり保健所管轄別職種別就業看護職員数は、病院で働く看護職員数を病院病床数で除し、100を乗じたもの。



7 専門性の高い看護職員の状況

専門看護師等の専門性の高い看護職員の人数は、毎年増加しており、令和4年12月末現在で、専門看護師19人、認定看護師363人、認定看護管理者82人、特定行為研修修了者は67人となっています（表11、図10）。また、専門看護師（注1）は有明・熊本市のみ、認定看護師（注2）は熊本県内全域、認定看護管理者（注3）は水俣以外の県内全域、特定行為研修修了者（注4）は阿蘇・御船・水俣以外の県内全域で多く就業しています（表12）。分野別では、感染管理・緩和ケアが多いという現状です（図11）。

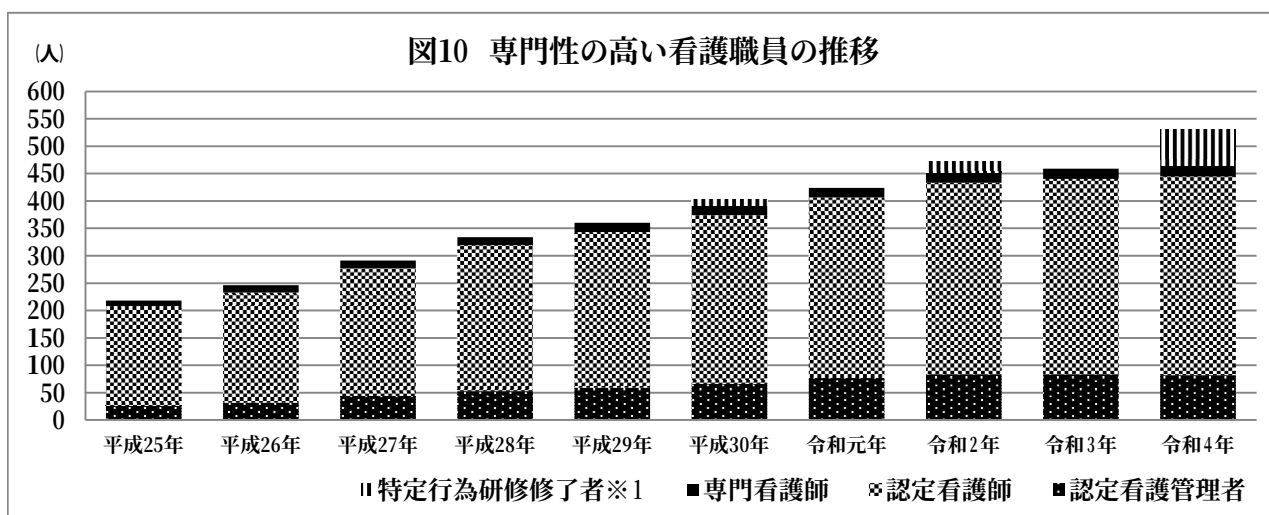
表11 専門性の高い看護職員の推移

<単位:人>

調査年	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者	特定行為研修修了者※1
平成25年	10	182	26	-
平成26年	13	201	32	-
平成27年	14	233	44	-
平成28年	15	266	53	-
平成29年	17	284	59	-
平成30年	18	308	66	11
令和元年	18	329	77	-
令和2年	19	349	84	21
令和3年	19	356	84	-
令和4年	19	363	82	67

※出典:日本看護協会、日本精神科看護協会（調査日:調査年の12月31日）

※1:厚生労働省医政局看護課調べ（調査日:令和4年12月31日）



注1: 専門看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、看護系の大学院で修士課程を修了して必要な単位を取得した後に、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という。）の専門看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

注2: 認定看護師とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護師教育を修め、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格することで取得できる資格です。

注3: 認定看護管理者とは、看護師として5年以上の実践経験を持ち、日本看護協会が定める認定看護管理者教育を修め、日本看護協会の認定審査に合格することで取得できる資格です。

注4: 特定行為研修修了者とは、特定行為研修（医師等の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を実施する看護師を養成する研修）を修了した看護師のことです。

表12 保健所管轄別専門性の高い看護職員数

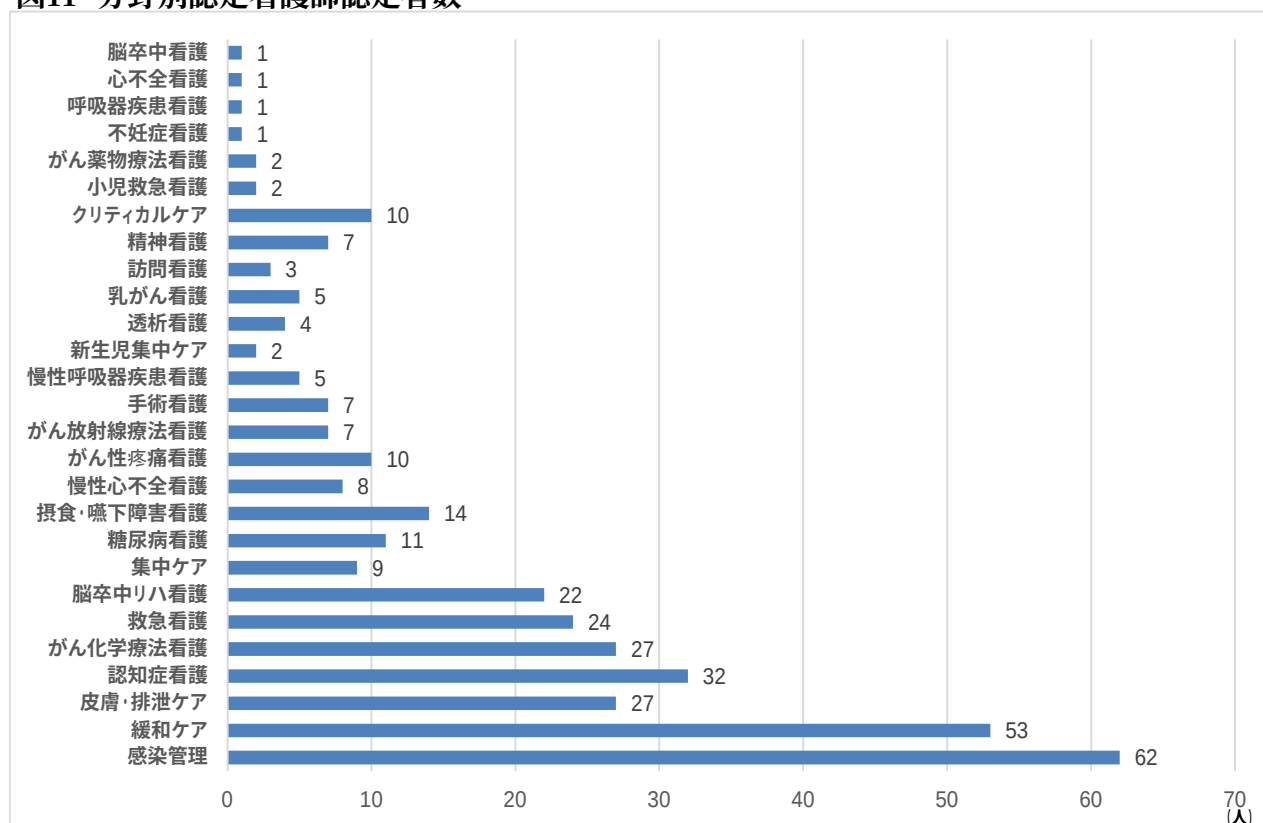
＜単位：人＞

保健所	専門看護師	認定看護師	認定看護管理者	特定行為研修 修了者
有明	1	23	2	1
山鹿	0	9	2	1
菊池	0	16	3	5
阿蘇	0	5	2	0
御船	0	1	2	0
宇城	0	15	3	1
八代	0	20	3	11
水俣	0	8	0	0
人吉	0	19	2	3
天草	0	13	2	2
熊本市	22	168	48	43
不明	0	11	6	0
熊本県	23	308	75	67

※出典：日本看護協会、日本精神科看護協会、日本看護協会「分野別都道府県別登録者検索」（調査日：令和6年6月2日）、厚生労働省医政局看護課調べ（調査日：令和4年12月31日）

※専門看護師、認定看護師、認定看護管理者、特定行為研修修了者は、公表の承諾を得た方のみの人数である。

図11 分野別認定看護師認定者数



※出典：日本看護協会（調査日：令和4年12月31日）